

環境への取り組み

当社では、環境に優しい交通機関を目指し、さまざまな取り組みを行っています。2000(平12)年10月には、当社のリサイクル活動への取り組みが評価され、「平成12年度リサイクル推進功労者等表彰」(リサイクル推進協議会実施)において、運輸大臣賞を受賞しました。

資源の再利用

●きっぷのリサイクル

1999(平11)年3月から、各駅で回収された使用済みきっぷをリサイクルし、全駅のトイレトーパーとして使用しています。



●バスネットカードのリサイクル

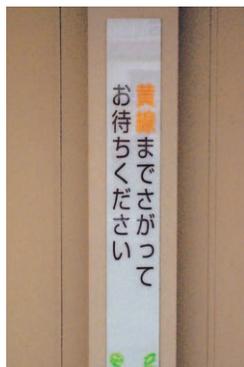
2000(平12)年1月から、日本で初めて、使用済み定期券を再利用した「エコベンチ」を設置しています。また、現在導入している新型ベンチやホーム待合室内のベンチにもバスネットカードをリサイクルしています。



エコベンチ

●ペットボトルのリサイクル

2002(平14)年1月から、駅売店などで回収された飲料用ペットボトルをリサイクルし、全駅の案内板として使用しています。



案内板

●車両・部品洗浄水の節水

若葉台工場では、車両や部品の洗浄等に用いる水の使用量を削減するため、「処理水再利用装置」を導入しています。この装置により、使用済みの水の汚れを取り除くことで、洗浄水などに再利用しています。現在、洗浄に用いる水の約40%はこの装置により処理されたものです。

省エネルギー化

●車両の省エネルギー化

電力を効率よく利用するために、回生ブレーキやVVVFインバータ制御装置を装備した車両を導入しています。

※回生ブレーキ(整備率100%)

回生ブレーキとは、電車がブレーキをかけた際にモーターを発電機として作動させ、発生した電気を架線に戻すことで他の電車が使えるようにする装置です。京王線・井の頭線全車両に整備しています。

※VVVFインバータ制御装置(整備率65%)

VVVFインバータ制御装置とは、架線に流れる直流を交流に変換し、電車の加速力や速度に応じて電圧や周波数を変化させながら交流モーターを動かす装置です。回生ブレーキとともに使用することで、従来の車両と比べて約30%の消費電力の削減が期待できます。

2010年度までに全車両VVVF化を目指して整備を進めています。

●太陽光発電システム

2001(平13)年2月から、明大前駅、若葉台駅、高幡不動車両基地の3施設で太陽光発電システムを導入し、駅の照明や自動券売機などの業務用電力の一部として活用しています。

●案内看板の省電力化

高効率で消費電力を大幅に抑えた蛍光灯と導光板を用いた内照式の案内看板を順次導入しています。

周辺環境への配慮

●騒音・振動対策

車輪の振動を自動的に検出するセンサーを京王線・井の頭線に各1カ所設置し、騒音・振動を早期に発見・改善しています。また、レールを溶接して継目箇所を少なくしているほか、鉄橋に防音材などを使用することで、騒音・振動の低減に努めています。

●線路わきの緑化

1991(平3)年度から、線路わきの雑草には除草剤を使わず、人力で草刈りをしています。また、降雨による法面の崩壊を防ぐとともに、お客様に沿線風景を楽しんでいただくことを目的として、井の頭線を中心に線路わきにアジサイ・ツツジ・サザンカなどを植栽し、緑化を進めています。この取り組みは、2001(平13)年2月に第7回杉並「まち」デザイン賞を受賞しました。



線路わきの環境保全としての緑化